

# セキュリティ・キャンプ 9月26日(土) 2026 三三 (山梨開催) ~9月27日(日)

会場 山梨大学 甲府東キャンパス

応募締め切り 2026年8月17日(月) 16:00

専門講座

参加無料

## 開催概要

日程	2026年9月26日(土) 13:00 (受付開始12:40)~9月27日(日) 16:00 (1泊2日)
場所	山梨大学 甲府東キャンパス 情報メディア館 〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37
定員	20名 選考あり
参加資格	日本国内に居住する、2027年3月31日時点において25歳以下の大学院生・学生・生徒・児童
主催	特定非営利活動法人山梨ICT&コンタクト支援センター、国立大学法人山梨大学、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会
後援	独立行政法人情報処理推進機構(IPA)※予定 その他調整中
協賛	SB C&S株式会社、株式会社エフタイム、株式会社大塚商会、株式会社オービックビジネスコンサルタント、株式会社シー・シー・ダブル、タイワボウ情報システム株式会社、TD SYNEX株式会社、トレンドマイクロ株式会社、日本ヒューレット・パッカード合同会社、株式会社パッファロー
費用	無料。ただし会場までの交通費は自己負担でお願いいたします。
URL	<a href="https://www.security-camp.or.jp/minicamp/yamanashi2026.html">https://www.security-camp.or.jp/minicamp/yamanashi2026.html</a>

## プログラム

※講義内容(テーマ、担当講師等は変更する可能性があります。)

### 1日目 9月26日(土)

12:40~	受付開始
13:00~13:20	『オープニング』『キャンプ紹介』 一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会ステアリングコミット
13:20~14:20 (60分)	『サイバー犯罪の現状と関連法・情報倫理について』 坂本 太 氏 山梨県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課 サイバー犯罪の現状をお話するとともに、サイバー犯罪関連法や情報倫理について説明します。
14:20~14:30	休憩
14:30~17:00 (150分)	『Webアプリに潜む脆弱性を探そう!』 保坂 一希 氏 山梨大学大学院 私たちが普段生活するうえでWebサイトは欠かせない存在となっています。多くの方がSNSやショッピングサイトなどに個人情報を登録・提供して利用しているでしょう。しかしながら、こうしたWebサービスには、「脆弱性」が潜んでいることがあります。脆弱性は時には個人情報の漏洩やアカウントの乗っ取りといった重大なインシデントにつながることもあり、近年大きな問題になっています。 本講義では、まず現在よく知られているWebサイトの脆弱性について学びます。その後、予め用意された脆弱なWebサイトに対して、ハンズオン形式で複数の脆弱性を体験します。そして、なぜ危ないのか・どのように直せばよいのかをセットで理解し、脆弱性発見から原因の調査、修正方法の考察までの一連の流れを扱います。 本講義を通じて、Webアプリの脆弱性について理解を深めていただき、セキュリティに対する考え方も身につけていきます。
17:00~18:30	夕食
18:30~20:00	宿題、自主学習
20:00	1日目終了(宿泊場所へ移動、自由行動、就寝)

### 2日目 9月27日(日)

7:30~9:30	朝食、会場へ移動
9:30~12:00 (150分)	『生成AI時代のWebアプリケーション開発とセキュリティ』 飯沼 翼 氏 株式会社日本経済新聞社 生成AIの普及により、Webアプリケーション開発は身近になりました。しかし、生成AIを用いて作成したコードが動くことと、利用者に安心して使ってもらえる状態で公開できることは同じではありません。専任のセキュリティ担当者がいない現場もあるからこそ、開発者自身がリスクを意識し、低減していく視点が重要です。 本講義では、生成AIを活用したWebアプリケーション開発を題材に、開発の中でセキュリティリスクを低減するための考え方と方法を学びます。座学では、実装やレビューといった場面に例え、生成AIや開発支援ツールの活用方法と、その出力を確認するうえでの視点を整理します。ハンズオンでは、講義用のWebアプリケーションを使い、生成AIや開発支援ツールを活用しながら、リスク低減の仕組みを実際の開発に取り入れる流れを体験します。 この講義を通じて、生成AI時代のWebアプリケーション開発におけるリスクとの向き合い方を身につけ、今後の開発実務やセキュリティ学習につながる土台を築くことを目指します。
12:00~13:00	昼食休憩
13:00~15:30 (150分)	『「Googleでサインイン」の裏側を作ってみよう! OAuth 2.0/OIDC入門』 永見 拓人 氏 千葉工業大学 Webサービスを利用するとき、「Googleでサインイン」や「Appleでサインイン」というボタンを見たことがあるかと思います。これらを使うと、新しくパスワードを作らなくても簡単にサービスへ登録できます。その裏側でどのような仕組みが動いているのか、考えたことはありますか? このようなログイン連携には、OAuth 2.0やOpenID Connect (OIDC)と呼ばれる仕組みが利用されています。OAuth 2.0/OIDCを利用することで、ユーザーは新たなパスワードを管理する手間が減り、より安全にサービスを利用できるようになります。一方で、この仕組みを正しく実装できていないと、アカウントのなりすましなど、新たなリスクが発生することもあります。 この講義では、OAuth 2.0/OIDCを簡易的に実装しながら、「Googleでサインイン」のような機能がどのように実現されているのか、そしてその安全性がどのように支えられているのかを学びます。普段何気なく利用しているログイン機能を実際に作ってみることで、Webサービスでアカウントを安全に扱うための考え方を身につけましょう。
15:30~16:00	『クロージング』 総評、アンケート記入等

## ■参加要項(事前にご確認ください)

応募条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国内に居住する、2027年3月31日時点において25歳以下の大学院生・学生・生徒・児童</li> <li>・2026年9月26日時点で18歳未満の場合、本大会の参加について保護者の同意を得ていること(参加が決定した際に保護者の同意書を出していただきます)</li> <li>・宿泊して2日間(9/26~27)通して参加が可能なこと</li> <li>・演習で使用する下記条件のPCを持参できること <ul style="list-style-type: none"> <li>- HDDまたはSSDに20GB程度の空き容量があること</li> <li>- USB(TypeA)の空きポートがあること(TypeCからの変換でも可)</li> <li>- Wi-Fiに接続可能なこと</li> <li>- VirtualBox、VMware等の簡単な操作が可能で、前出の仮想環境においてLinuxのコマンド操作が可能なこと。</li> <li>- 参加決定後に指定のソフトウェアをインストールし、起動確認できること(詳細は参加決定後に連絡)。</li> <li>- Webサービスのプログラミング経験がある方が好ましい。</li> </ul> </li> <li>・今回の「セキュリティ・キャンプミニ2026(山梨開催) 専門講座」では、講義の録画、配信が行われる可能性があることをご承知いただくこと</li> <li>・セキュリティまたは、プログラミングに関して、講習を受けられるだけの基礎知識と積極的に取り組む姿勢を持っていること</li> <li>・別途定める「セキュリティ・キャンプミニ2026(山梨開催) 専門講座」実施規定を遵守できること</li> </ul>
申込方法	<p>セキュリティ・キャンプ協議会のホームページよりお申し込みください。  <a href="https://www.security-camp.or.jp/minicamp/yamanashi2026.html#Id01">https://www.security-camp.or.jp/minicamp/yamanashi2026.html#Id01</a>  ※応募課題があります。  ※申込内容に不備があった場合は、事務局より確認のご連絡をする場合がございます。  ※申込された方には、申込受領のメールが自動送信されます。メールが届かない場合は事務局までご連絡ください。</p>
申込締切	8月17日(月)16:00必着(16:00までに到着したものを有効とします)
参加者決定のお知らせ	審査の上、申込みされた方全員に8月21日(金)までにメールまたは電話にて連絡します。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込者多数の場合には、参加できないことがあります。参加者は、申込書の記入必要事項及び選考問題の回答内容を審査の上、関東地方の方を優先に選考します。</li> <li>・会場までの往復の交通機関や宿泊施設は必要に応じてご自身で手配(費用自己負担)してください。なお、9月26日の宿泊は主催者が手配、費用負担します。</li> <li>・参加が決定された方には、応募条件を満たすことを証明する書類(学生証のコピーや学校が発行する在籍証明書等)、参加誓約書(参加規程を遵守する旨の誓約)、倫理行動宣誓書、その他主催者が必要と定める書類を提出していただきます。</li> <li>・主催、マスコミ各社により、写真・動画撮影、取材などが行われることがあります。氏名・学校・顔写真などを含む受講時の様子が広報、啓発の目的で公開される場合がございます。</li> <li>・本事業の成果をはかることを目的として、参加後アンケートや定期的にその後の活動状況についてフォローアップ調査を実施させていただきます。参加はアンケート回答必須となるため事前にご了承ください。</li> <li>・開催当日において、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合や、下痢の症状、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が数日続いている場合は、現地での参加を取りやめていただきます。</li> <li>・受講およびイベント参加中は、20歳以上であっても、飲酒・喫煙を禁止します。</li> <li>・「セキュリティ・キャンプ2026ミニ(山梨開催) 専門講座」に参加した方でも、セキュリティ・キャンプ全国大会や他のミニキャンプの応募は可能です。</li> </ul>

## ■講師プロフィール



坂本 太 (さかもと ひとし)

民間企業でシステムエンジニアを経験したのち、警察官を拝命。サイバー犯罪事件捜査や被害防止対策に従事し、現在はサイバー捜査支援室長として機器解析等を指揮



保坂 一希 (ほさか いつき)

山梨大学大学院 医農学総合教育部 工学専攻 コンピュータ理工学コース 修士1年  
ネットワークやセキュリティに興味持ち、日々インフラやシステムをひたすら構築している。  
●セキュリティ・キャンプ2025全国大会 Bクラス 修了  
●セキュリティ・キャンプ2025ミニ in 長崎 チューター



飯沼 翼 (いぬま つばさ)

株式会社日本経済新聞社 CDIO室 セキュリティチーム所属。プロダクトセキュリティの専任者として、日本経済新聞社が運営するプロダクト全般のアプリケーションセキュリティ領域を主に担当。セキュリティバンダーでの経験を経て現職。これまでの脆弱性のリサーチ活動では、ブラウザやOSS、Webアプリケーションに関する多数の脆弱性を発見。セキュリティ・キャンプ2026全国大会講師。セキュリティ・キャンプ2025ミニ(香川開催)講師。セキュリティ・キャンプ全国大会2014修了。CISSP。



永見 拓人 (ながみ たくと)

千葉工業大学大学院 情報科学研究科 情報科学専攻 修士1年。クラウドプラットフォームの開発に携わるソフトウェアエンジニアを目指し、日々研鑽を積んでいる。  
●セキュリティ・キャンプ全国大会2022 修了  
●セキュリティ・キャンプ全国大会2024/2025 チューター  
●セキュリティ・ミニキャンプ in 山梨 2024 講師  
●セキュリティ・キャンプ2025ミニ(石川開催) 講師